

# ●地すべり滑動に起因した既設法枠工の変状進行監視



— Point —

- ◆警報メール誤配信のリスク低減
- ◆専門技術者による現地点検

施工後約 20 年経過した国道に面する切土法面にて、法尻に位置する法枠縦梁部に、地すべり滑動を原因とするせん断亀裂が発生しました。これを受け、安全な車両及び歩行者の通行を目的として、地すべりに滑動に起因する亀裂の進行を常時把握するため、地盤伸縮計を用いてリアルタイム自動監視を行いました。あらかじめ 3 段階(注意・警戒・非常)の管理基準値を設定し、それらを超過した際には、関係者へ警報メールを配信する監視体制を構築しました。なお、管理基準値は「6 時間累積変位量」と「総累積変位量」の 2 項目として全体運用し、また“短時間変位”を把握するため弊社のみで運用する「1 時間累積変位量」を自主設定し運用することで、**獣害や計器の誤作動による関係者への警報メール配信を低減しました。**さらに、**定期的な計器メンテナンス時には、弊社専門技術者による法面点検を行い、安全・安心な道路管理をサポートしました。**



専門技術者による定期的な法面点検

## 管理基準値

管理基準値		地盤伸縮計		
		6時間累積変位	総累積変位	時間変位 (中央開発株式会社のみ適用)
警戒レベル0	通常態勢 (警戒解除)	0.5mm以下/hを 3時間連続	/	0.5mm以下/hを 3時間連続
警戒レベル1	注意態勢	6.0mm以上/6h		25mm以上
警戒レベル2	警戒態勢	12.0mm以上/6h	50mm以上	2.0mm以上/h
警戒レベル3	非常態勢	24.0mm以上/6h	100mm以上	4.0mm以上/h